平成28年熊本地震 日本医師会 災害医療チームJMAT

島根 鳥取 兵庫京都滋賀愛 | 口 広島 岡山 大阪奈良 三重 和歌山

愛媛香川高知徳島

について

公益社団法人日本医師会 平成28年9月21日

平成28年熊本地震における JMAT活動について

- 平成28年熊本地震(平成28年4月16日 本震発生)におけるJMAT(日本医師会災害医療チーム)については、7月16日までに全てのチームが活動を終え、第5回本会理事会(平成28年7月26日開催)により、終了を正式に決定いたしました。
- 関係各位におかれましては、これまでのご協力、ご支援につき、御礼申し上げます。
- 最後に、改めて、震災の犠牲になられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

2016年熊本地震 日本医師会対応

日時	対 応	
4月14日(木)	21時26分、最初の地震が発生 直後に、横倉会長より、情報収集とJMAT等の準備の指示	
4月15日(金)	塩崎厚生労働大臣より、横倉会長に協力要請 横倉会長より、被災者健康支援連絡協議会との情報共有と協力を 行うよう指示 日本医師会災害医療対策本部を設置 被災地へのJMAT派遣を決定(当初は熊本県医師会JMATのみ)	
4月16日(土)	1時25分、本震の発生 急遽、日医会館を開けて対応することを決定 JMATの派遣元を熊本県医師会から全国に拡大(「九州医師会連 合会災害時医療救護協定書」(平成26年7月)を基本)	
4月18日(月)	平成28年熊本地震に関する 第1回目の被災者健康支援連絡協議 会を開催	
4月26日(火)	第2回目の被災者健康支援連絡協議会を開催	
連休中	日医会館にてJMAT等の地震対応業務を実施	
5月10日(火)	九州各県医師会とのTV会議を開催	
7月16日(土)	JRATチームの派遣終了に伴い、JMAT活動の実質的な終了	
7月27日(火)	第5回日本医師会理事会にて、JMAT活動の終了を決定	

JMAT (日本医師会災害医療チーム)

役割

- 救護所、避難所等における医療・健康管理
- 被災地の病院・診療所の医療支援(災害発生前から の医療の継続)
- ① 避難者に対する医療、健康管理
- ② <u>避難所等の公衆衛生対策</u>:感染症対策、避難者の健康状態、食生活の把握と改善
- ③ 在宅患者の医療、健康管理
- ④ 派遣先地域の医療ニーズの把握と評価
- ⑤ 医療支援が行き届いていない地域(**医療支援空白地域**) の把握、及び巡回診療等の実施
- ⑥ 現地の情報の収集・把握、共有
- ⑦ 被災地の医療関係者間の連絡会の設置支援
- ⑧ 患者移送
- ⑨ 再建後の**被災地医療機関への引継ぎ**

JMATのチーム編成

チーム構成例

医師1名、看護職員2名、事務職員1名

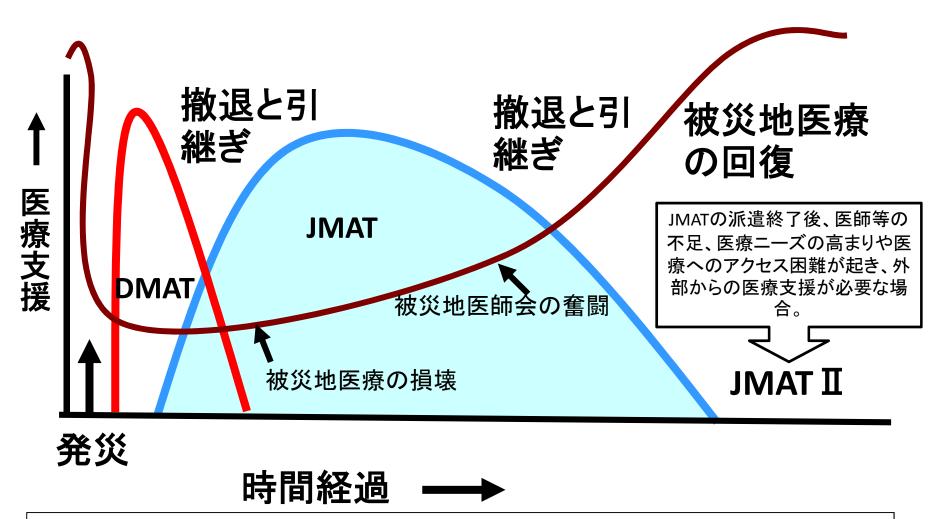


この構成例はあくまでも例。

職種・人数は、現地での二一ズなど、状 況に応じて柔軟に対応。

- ・歯科医師、薬剤師
- ・救急救命士、理学療法士、作業療法士、臨床 検査技師、介護・福祉関係者、栄養士等

DMATとJMATの役割分担 (概念図)



日本医師会「JMATに関する災害医療研修会」(平成24年3月10日)資料 (「DMATとJMATの連携」(小林國男 日本医師会「救急災害医療対策委員会」委員長(当時) 平成28年熊本地震JMAT派遣

熊本市	熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、宮城県、埼玉県、東京都、神奈川県、石川県、愛知県	
阿蘇市	熊本県、東京都、山梨県、鳥取県、岡山県、広島県	
南阿蘇村	熊本県、福岡県、東京都、神奈川県、富山県	
宇土市	熊本県、鹿児島県	
益城町	熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県、宮城県、福島県、東京都、神奈川県、石川県、長野県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、香川県	
大津町ほか	熊本県、神奈川県、静岡県、鳥取県	

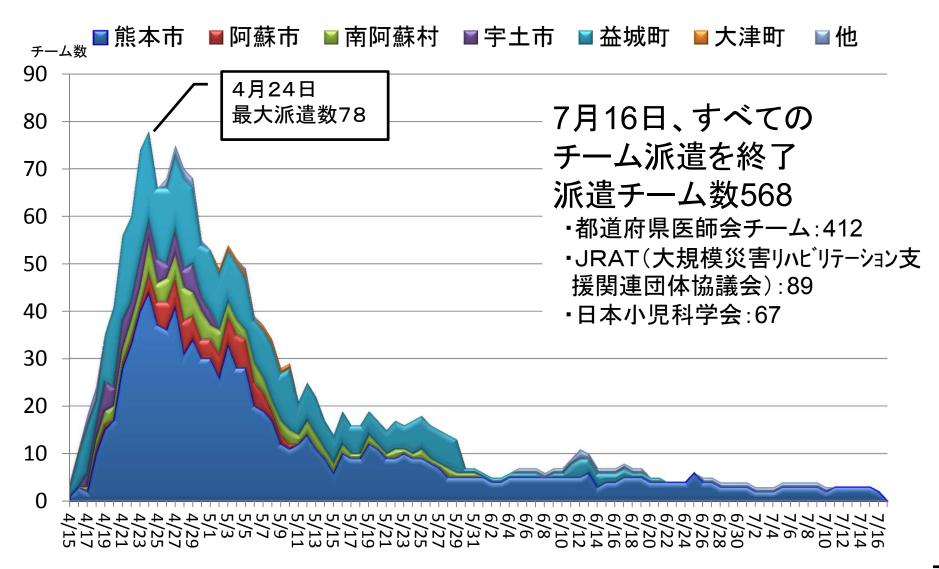
今回のJMAT活動の特徴

- 東日本大震災時に比べて"JMAT"の 名前が浸透
- 災害前から、九州医師会連合会に て相互支援協定を締結
- 熊本県医師会でも災害前からJMAT を編成
- ・ 兵庫県医師会、沖縄県医師会など 現地のコーディネーター役を担う ケースあり



平成28年熊本地震JMAT派遣

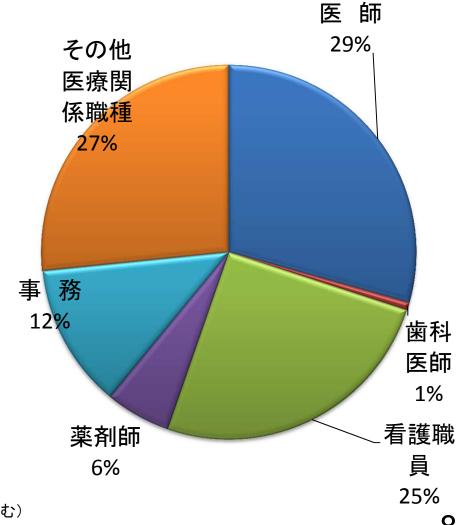
(7月26日現在)



平成28年熊本地震JMAT派遣

(7月26日現在) 参加者数

職種	派遣人数
医 師	750
歯科医師	17
看護職員	647
薬剤師	144
事 務	318
その他 医療関係職種	680
合 計	2556



く参考>

防災基本計画の改定

(2016年5月31日)

第2編 各災害に共通する対策編 第2章 災害応急対策に、 下記を追加

都道府県は、災害派遣医療チーム(DMAT)による活動 と並行して, また, 災害派遣医療チーム(DMAT)活動 の終了以降, 日本医師会災害医療チーム(] MAT), 日 本赤十字社,独立行政法人国立病院機構,国立大学病院, 日本歯科医師会、民間医療機関等からの医療チーム派遣等 の協力を得て, 避難所, 救護所も含め, 被災地における医 療提供体制の確保・継続を図るものとし、その調整に当た っては災害医療コーディネーターを活用するものとする。 その際, 医療チーム等の交代により医療情報が断絶するこ とのないよう,被災地における診療情報の引継ぎが適切に 実施されるよう,努めるものとする。

平成28年熊本地震における JMATの活動終了について

- 2016年7月16日 を以て、全ての チームが活動を 終了
- 現時点において、 新たなチーム派遣 の予定はない。

第5回日本医師 会理事会(平成 28年7月26日開 催)において、J MATの活動を 終了し、次の大 規模災害に向け た検討を行って いくことを決定。

今後の取組み(予定)

- JMAT活動の報告・検証
 - 都道府県医師会災害医療担当理事連絡協議会 の開催(今秋)
 - 日本医師会「救急災害医療対策委員会」にお ける検討
 - JAXA (国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構) 等との**首都直下地震防災訓練(衛星利用** 実証実験)の実施
- 国の防災行政における J M A T の位置づけ強化
 - 中央防災会議(傘下の防災対策実行会議、関 係WGにおける議論)

被災者健康支援連絡協議会

- 2011年東日本大震災時に、被災者の健康 支援のため、日本医師会と全国医学部長 病院長会議とで創設。
- 日本の主要な団体で構成し、関係省庁も 参画。

2016年熊本地震

- 地震発生直後から情報共有、協力を開始
- 4月18日・26日、6月20日に、3回の会合を 開催
- メーリングリストを通して、被災地のニーズ 把握や課題などの情報共有

被災者健康支援連絡協議会

日本の主な保健、 医療、介護関係団 体の結集。 関係省庁の参加

代表 事務局長

日本 医師会

全国医学部長 病院長会議

事務局長

日本

厚生 労働省

総務省

文部 科学省

環境省

日本歯科 医師会

日本 薬剤師会

日本看護 協会

日本 赤十字社

日本慢性期 医療協会

日本 病院会

全日本病 院協会

日本医療 法人協会

日本精神科 病院協会

日本精神神経 科診療所協会 チーム医療 推進協議会 (医療関係者 の職能団体 で構成)

大規模災害リ

ハビリテーショ

ン支援関連団

体協議会

(リハビリ・介護関

係団体で構成)

栄養士会 日本救急救 命士協会

日本病院薬剤師会

日本臨床 心理士会

全国老人保 健施設協会

日本診療放 射線技師会